



2025 年 5 月 15 日

各位

会社名: AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
(コード:254A 東証スタンダード市場)
代表者名: 代表取締役社長 澤田 大輔
問合せ先: 財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL: 03-6261-9511)

中期事業計画策定に関するお知らせ

当社は、2024 年 10 月 29 日付で中期経営計画（AI 革命 1.0）を公表しておりましたが、その後の株式会社ショーケース（東証スタンダード：3909）の連結子会社化や、暗号資産投資事業の開始等を踏まえ、本日開催の取締役会において、新たに中期事業計画を策定しましたので、添付のとおりお知らせいたします。

以上

 AIフュージョンキャピタルグループ

中期事業計画

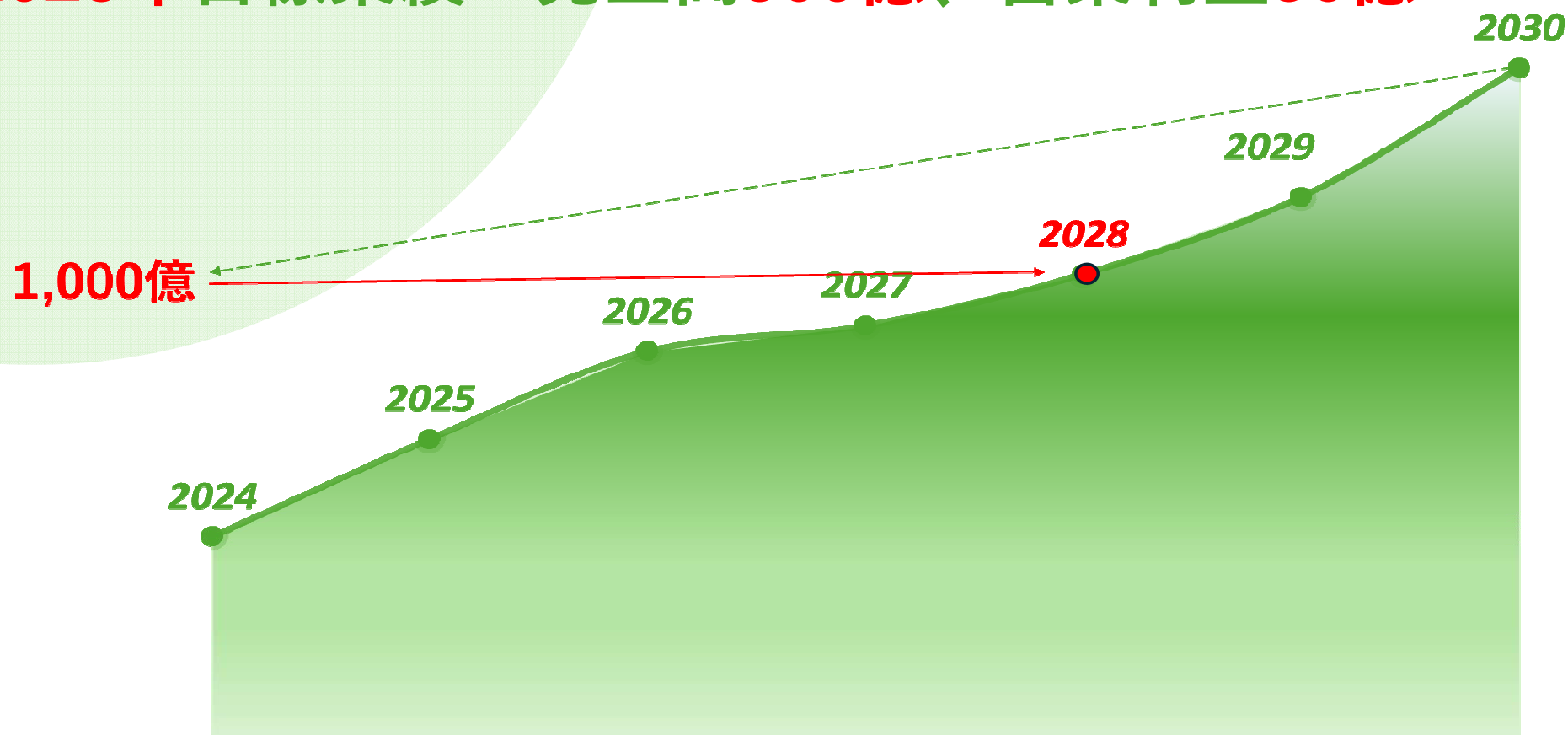
2028年 時価総額1,000億ビジョン

2025.05

目標時価総額1,000億円

2030年から2028年に前倒し

2028年目標業績 売上高500億、営業利益50億



中期事業計画の前倒し理由

Factor 01

M&A戦略の拡大

- IT系の上場会社2社のM&Aにより事業規模拡大
- ショーケース（証券コード3909）との資本業務提携→子会社化
- ラバブルマーケティンググループ（証券コード9254）との資本業務提携→持分会社化
- M&A戦略のさらなる加速が期待される

Factor 02

暗号資産ビジネスの参画

- ミライコイン株式会社の設立
- WEB3.0技術を用いた暗号資産事業の展開
- 仮想通貨（ビットコイン）の購入・運用開始
- 暗号資産ビジネスのさらなる加速が期待される

● 時価総額1,000億円への進捗

M&A戦略を中心としつつ新事業ドメインとして暗号資産の投資・運用を行い時価総額1,000億円グループの成長を加速

③ 資金調達による成長加速

2025年3月28日公表の資金調達30億規模の発表。成長スピードを加速

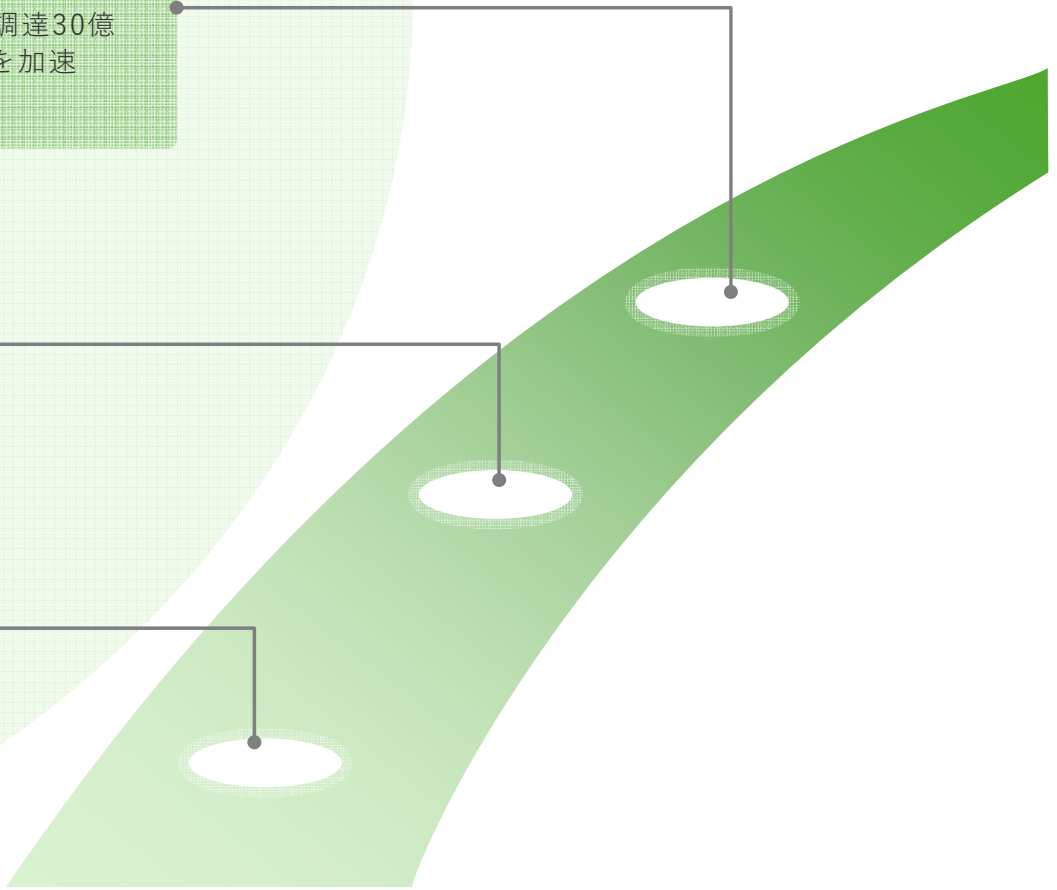
② 暗号資産市場への参入

ミライコイン株式会社を設立。暗号資産を活用した新サービスの発表

① AI/DX企業のグループ化

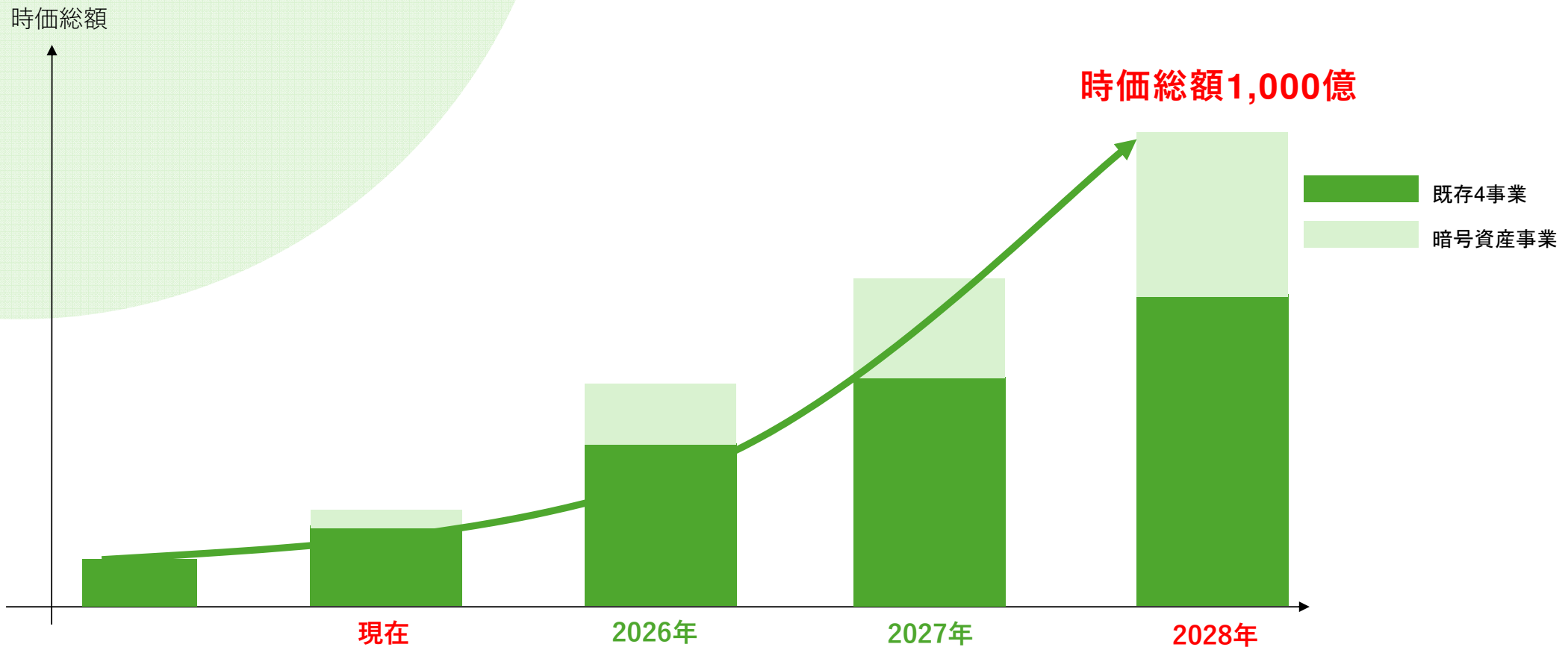
IT系の上場会社2社を当社グループにJOIN。当社グループが進めるIT業界の合従連衡を進める

時価総額
1,000億円



● 時価総額1,000億円に向けた**事業ポートフォリオ**

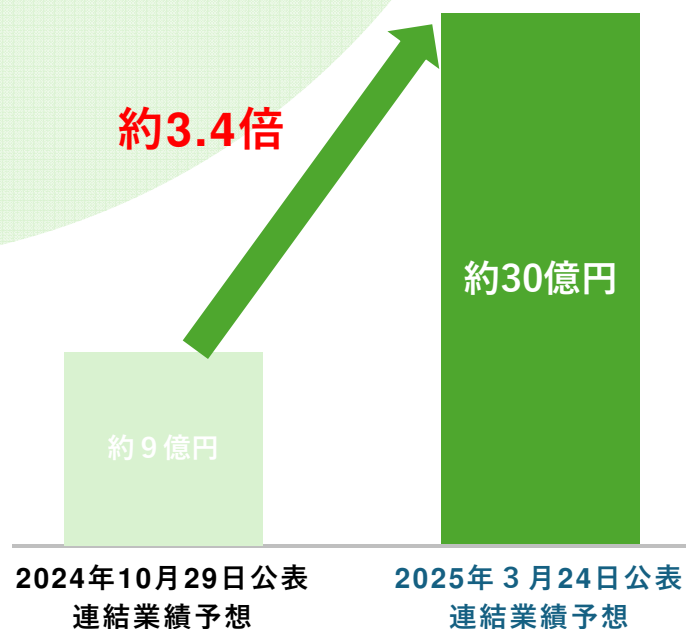
4つの既存事業を基盤としつつも新規事業ドメインである暗号資産事業を通じてグループ全体売上収益、営業利益の更なる成長と時価総額1,000億円を目指します。



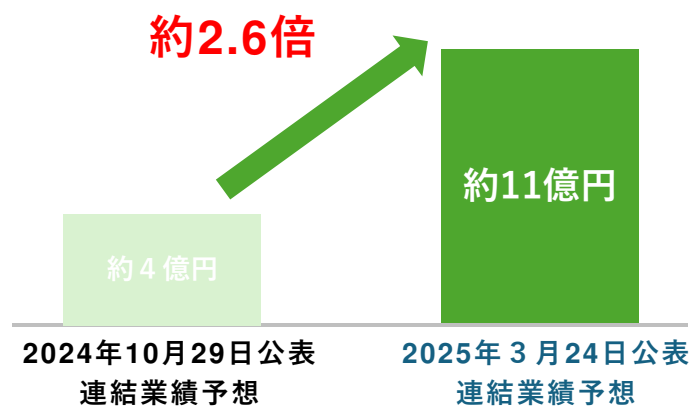
業績の進捗状況

半年間で売上収益は約3.4倍、営業利益は約2.6倍成長を実現

売上収益



営業利益



現在の事業ドメイン

新しい資本主義の 未来を創造する 4つの事業

私たちは、AIと金融の力を融合し、ビジネスの成長を加速させる金融ソリューションを提供します。

自己投資・ファンド・PIPEs・投資銀行業の4つの領域で、新しい資本主義の未来を創造し、日本の成長を支えるグループを目指します。



01

自己投資事業

『AIを活用した事業モデル変革を図る企業』を中心とする企業群への当社グループによる自己投資



02

ファンド事業

AIソリューションを提供する企業群に特化したファンドの組成及び従来からのベンチャー投資



03

PIPEs 事業

上場企業（中小型株）への戦略投資とバリュアップ戦略の構築及び実行



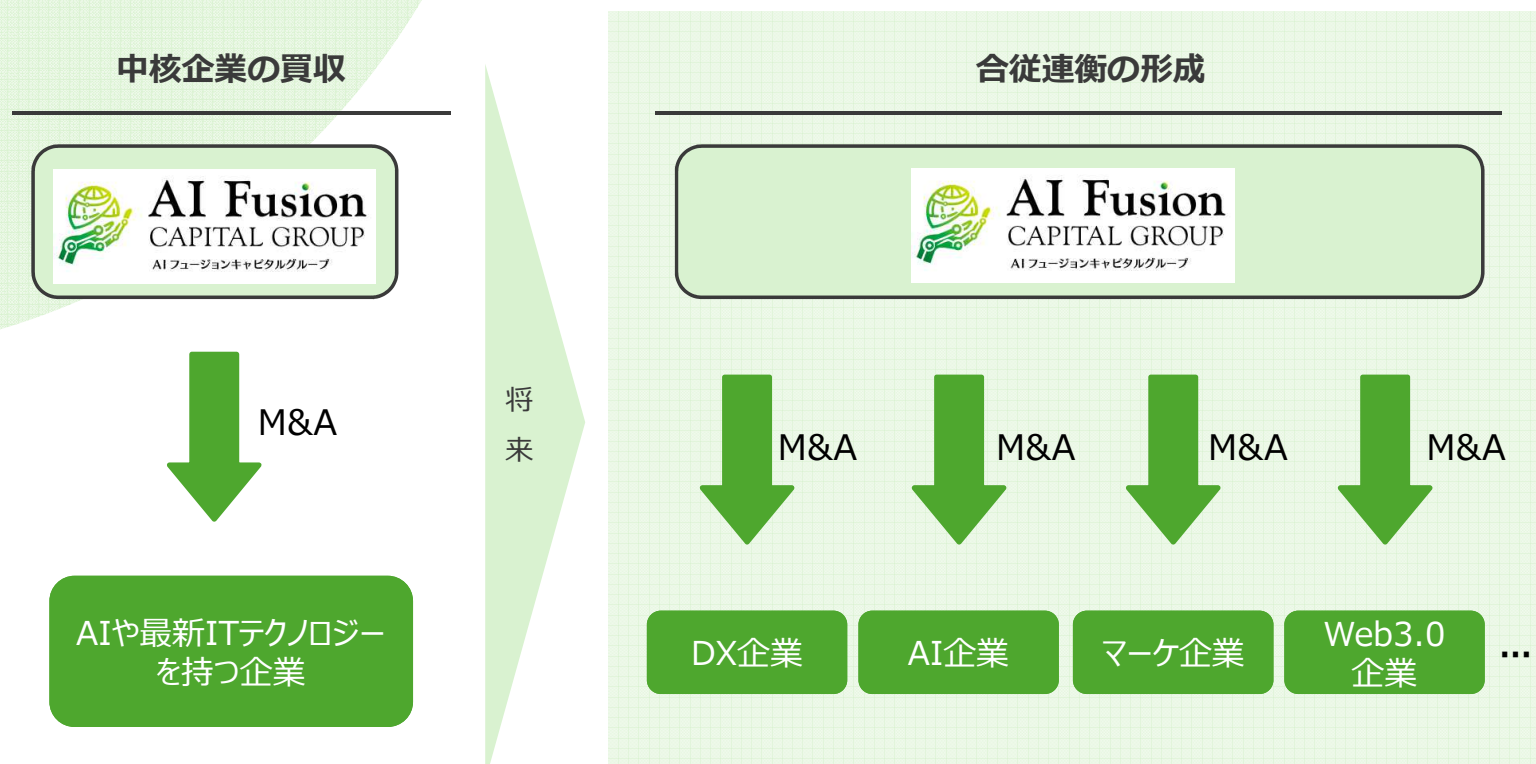
04

投資銀行業

他3事業に付随して発生する、M&A、資金調達、資本業務提携等のアドバイザリー業務

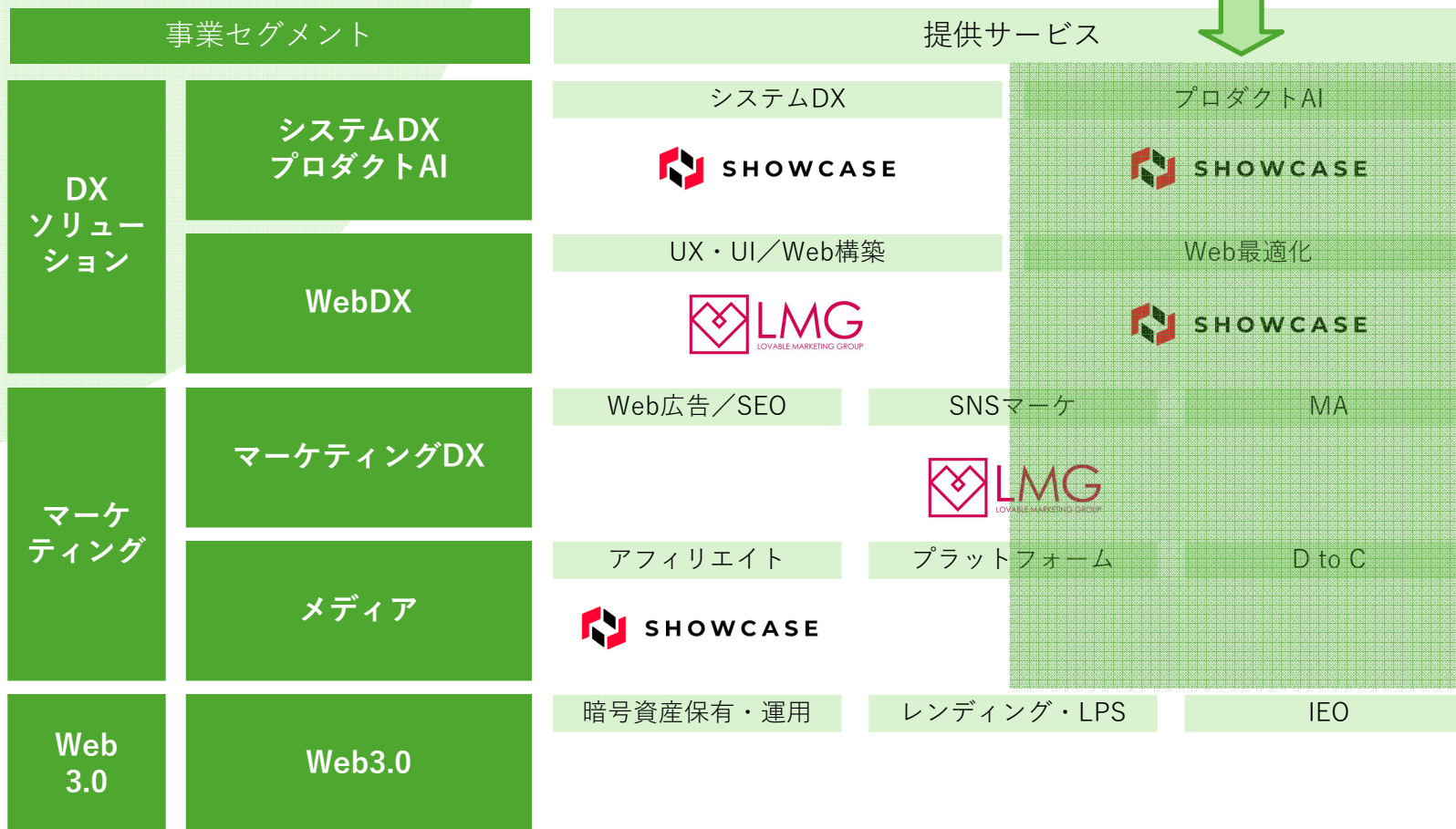
各事業の戦略① 自己投資事業

『AIや最新のITテクノロジーを活用した、事業モデルの変革を図る企業』を
中心にM&Aを進める。将来的に**M&Aを実施した企業群をまとめた合従連衡を形成**



各事業の戦略① 自己投資事業

合従連衡に向けたM&Aマッピング



各事業の戦略① 自己投資事業

事業セグメントイメージ



AI Fusion

AI フュージョンキャピタルグループ
CAPITAL GROUP

DXソリューション事業



SHOWCASE

マーケティング事業



LMG
LOVABLE MARKETING GROUP

Web3.0事業



MIRAICOIN

ミライコイン株式会社

各事業の戦略② ファンド事業

AIソリューションを提供する企業群に特化したファンドの組成、ベンチャー投資・ファンド管理（既存事業領域）の拡大



AIソリューション（自社開発/SaaS/半導体センサーなどのハードウェアの開発など）を投資対象

①テーマ型ファンド

テーマ型ファンドの拡大



新たな事業領域へのテーマ型
ファンドの拡大

②CVCファンド

CVCファンドの拡大



地方の事業多角化を目指す中
核企業をターゲットにCVC
ファンドの拡大

③地方創生ファンド

既存の地方創生
ファンドの拡大



地方公共団体と複数地域金融
機関との連携を強化しファン
ド規模の拡大

各事業の戦略③ PIPEs

当社がGP（ファンド運営者）としてPIPEs事業を展開

現在、複数の上場会社と接触中

- ①AI関連のネットワークを活用した事業変革のサポート
- ②新規事業・新規市場開拓のサポートシナジー効果のある企業とのマッチング

時価総額**100億円未満**の業績が伸び悩む上場企業の成長のための資金を当社が提供
(含: 他の投資家)

企業価値を上げて更なる成長のための道筋を**5年～7年**想定で**企業価値5倍**へ成長を支援して EXIT

各事業の戦略④ 投資銀行業

他の3事業（自己投資事業、PIPEs事業、ファンド事業）に付随して
派生する様々な投資銀行（コーポレートファイナンス）サービスを提供

CHECK
1

事業内容、事業規模、事業ステージ等を鑑み最適な資金調達や事業提携等をサポート

CHECK
2

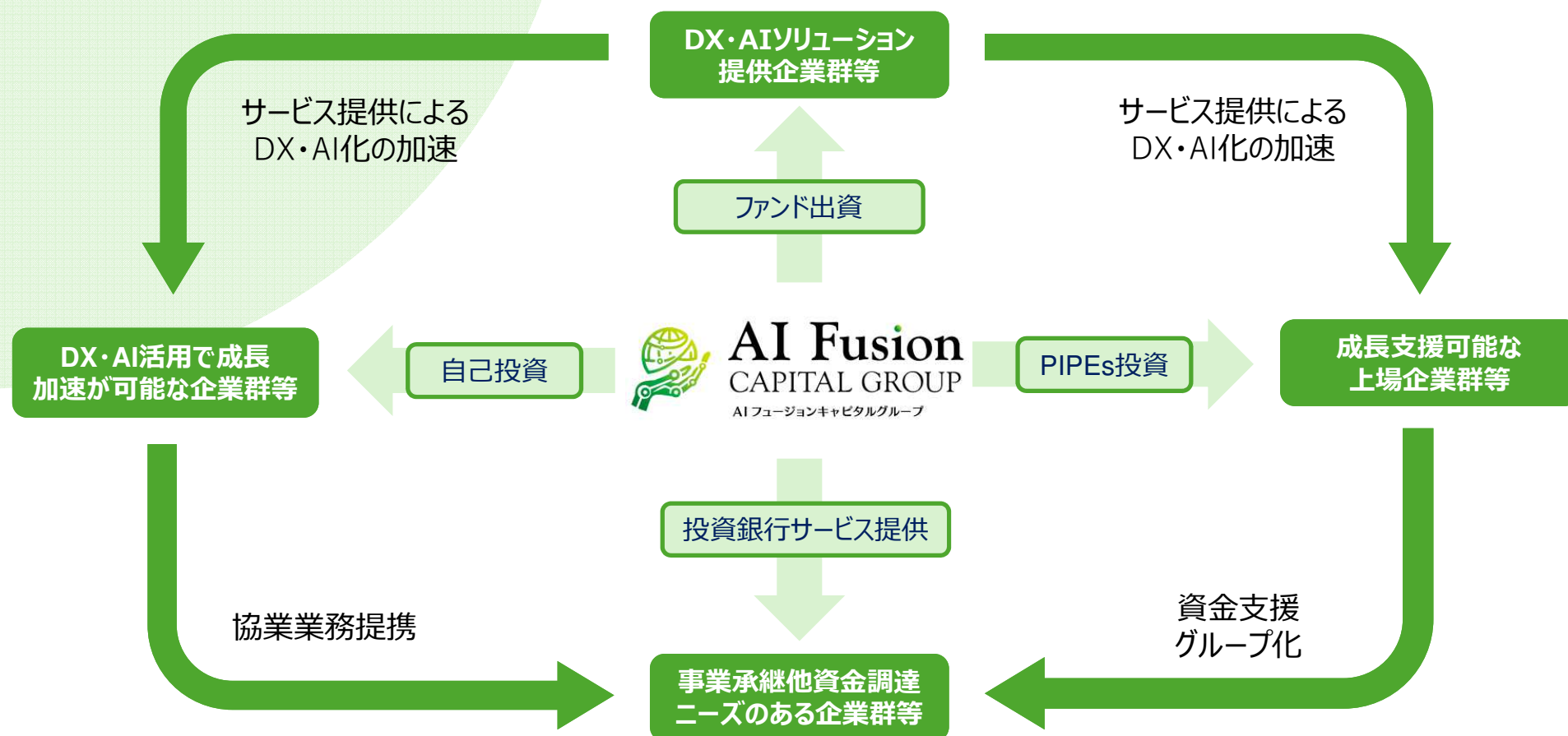
投資先企業、自己投資事業の投資先企業によるM&Aが適切であると考えられる際等のサポート

CHECK
3

投資先企業、自己投資先企業、地域金融機関、地方自治体、その他の様々な事業パートナーによる幅広いネットワークを活用したサービスを提供

投資銀行（コーポレートファイナンス）として貢献

これまでの4つの事業ドメインをコア領域と定め、**シナジー効果を発揮**しながら、
それぞれが独立した事業として当社グループの利益成長をドライブしていきます



新規事業ドメインの追加

新しい資本主義の 未来を創造するため 事業ドメインを追加

ミライコイン株式会社を設立し暗号資産
の保有、運用事業を開始。

01

自己投資事業

『AIを活用した事業モデル』
を中心とする企業群への当
自己投資



05

暗号資産事業

暗号資産投資、運用を実行

03

PIPE s 事業

上場企業（中小型株）への戦略投資とバ
リュアアップ戦略の構築及び実行

04

投資銀行業

他3事業に付随して発生する、M & A、資金
調達、資本業務提携等のアドバイザリー業務

暗号資産事業 今後の展開①

ミライコイン株式会社を中心とし、暗号資産交換業者との連携を実施。（グループ化も視野に）
暗号資産の保有、運用による収益確保に限らず、投資原資の確保を行いトークン投資を実施

①暗号資産の保有

- グローバルかつ透明な金融エコシステムへ参入
- 当社のアロケーション戦略により暗号資産への投資をリスクヘッジ

②暗号資産による運用

- 自社保有の暗号資産を運用、運用収益を確保

④トークン投資、販売（予定）

- 暗号資産交換業者・取引所を保有し投資、販売活動を活性化

③暗号資産ビジネス

- 暗号資産保有者から暗号資産を預かるレンディングを実施
- LPSから暗号資産による投資を実施



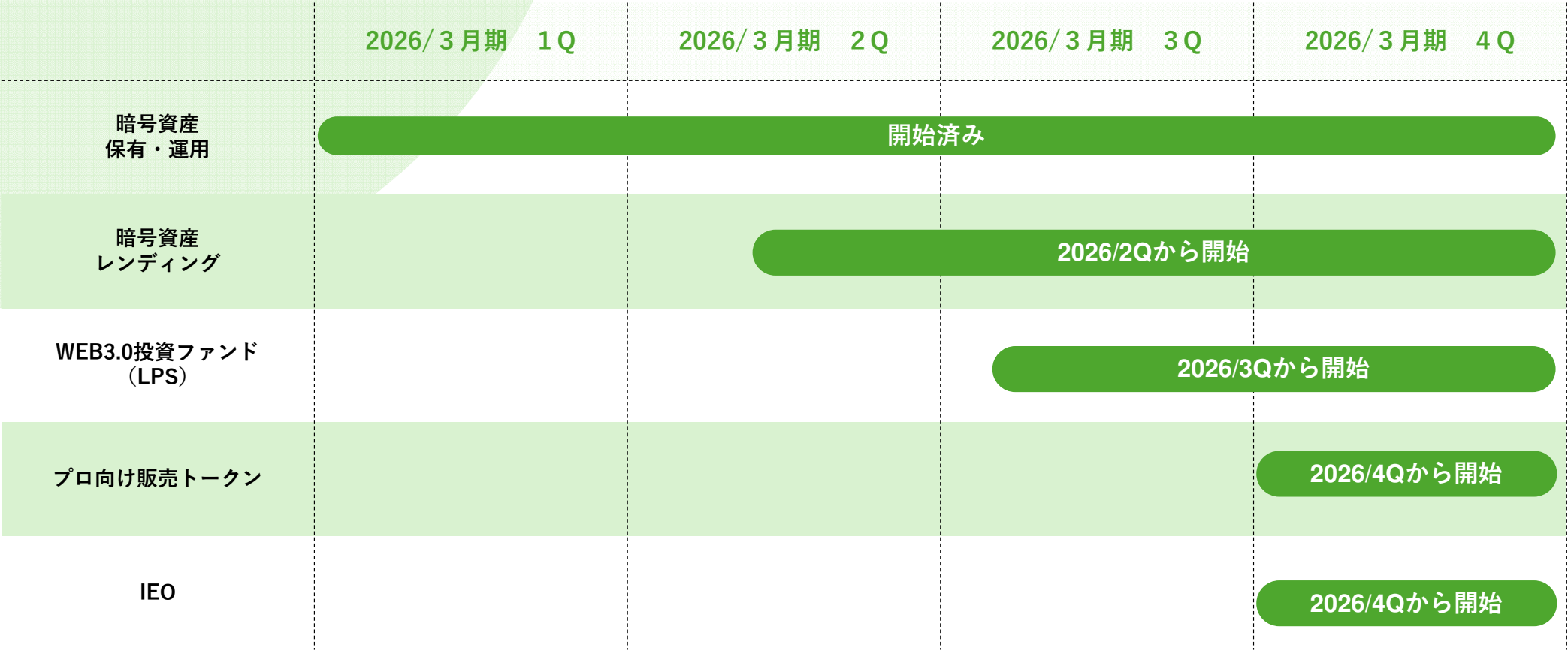
暗号資産事業 今後の展開②

暗号資産ビジネス概要	ライセンス	概要
暗号資産 保有・運用	不要	自己保有暗号資産を運用して運用収益を獲得
暗号資産 レンディング	不要	暗号資産ホルダーより暗号資産を借り入れ、 借入暗号資産を原資として運用をし、一部収 益を獲得
WEB3.0投資ファンド (LPS)	必要	WEB3.0系企業へ出資するファンドを組成し て、運用
プロ向けトークン販売	必要	一般事業会社の新たな資金調達手段として トークン発行による資金調達を暗号資産交換 業の立場からサポート
IEO	必要	Web3.0分野に属するベンチャー企業への投 資手段として、発行体たるベンチャー企業 を審査の上で発行するトークンを販売

ライセンスが「必要」な領域は、当社のM&A戦略により解消予定

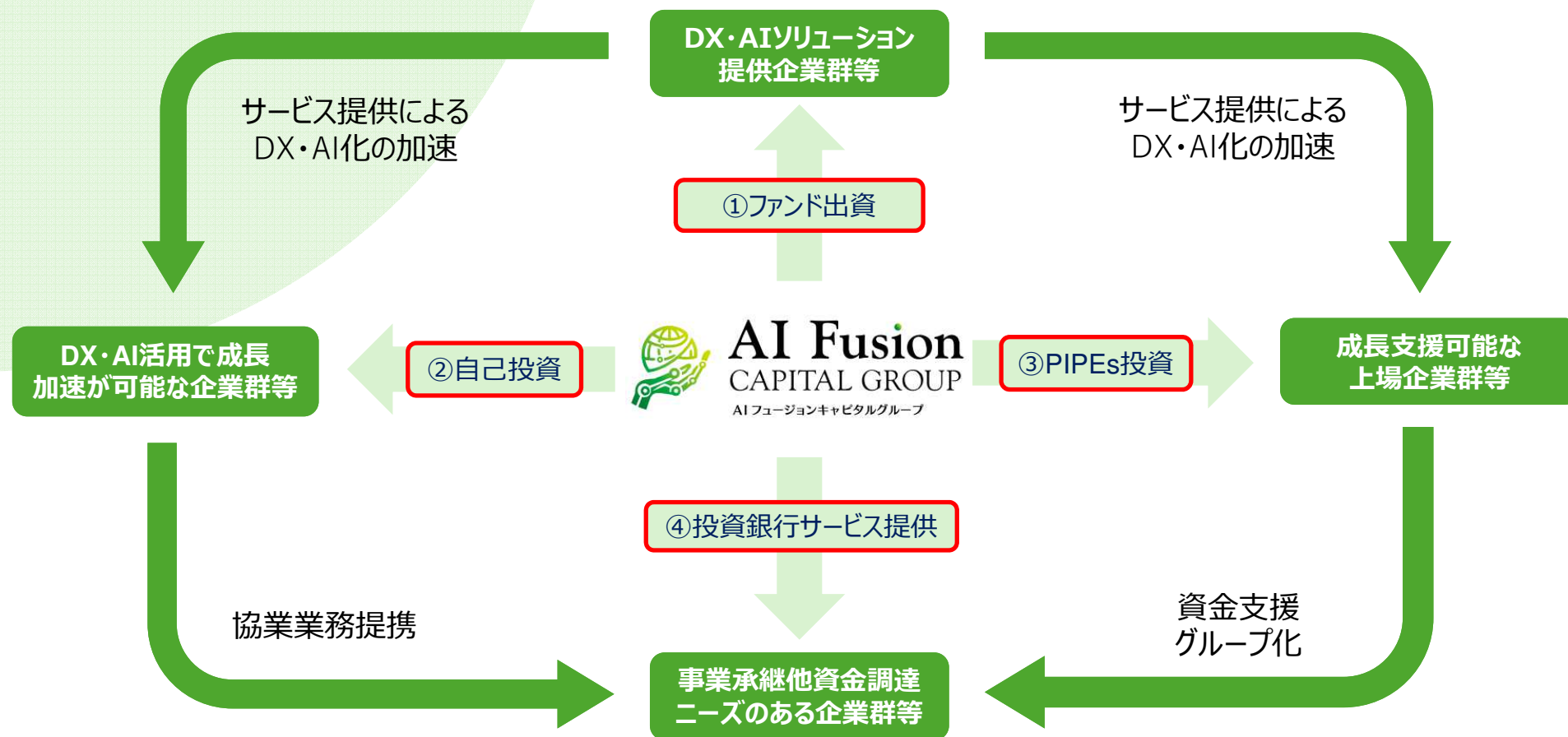
暗号資産事業 今後の展開③

段階的に暗号資産に関するビジネスを展開予定



暗号資産事業 今後の展開④

下図の①～④の部分について、これまではFIAT（法定通貨）でのサービス提供だけだったものから暗号通貨によるサービス提供を実施してきます。

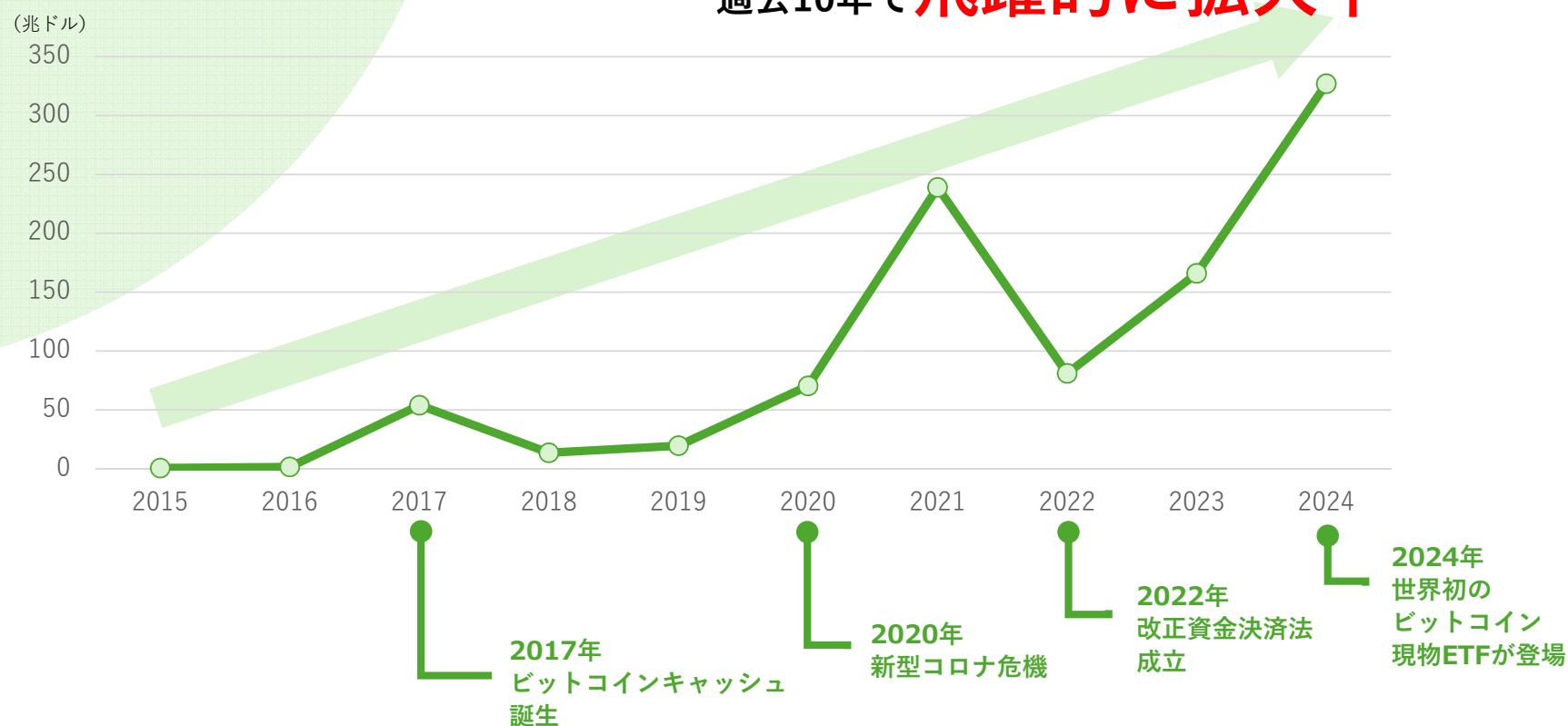


< 参考 > 暗号資産の歴史と市場規模推移

10年間で市場全体の時価総額は**500倍**に

周期的な変動はあるものの、中長期視点では時価総額の上昇が続く

■ 暗号資産市場全体の時価総額推移

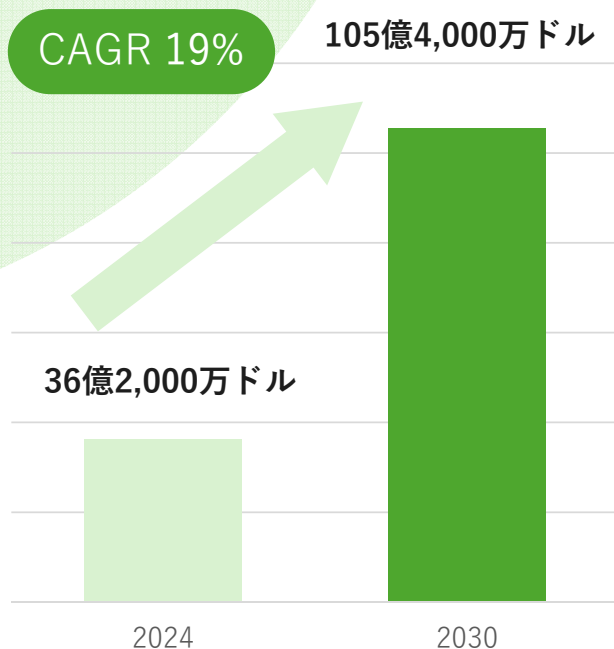


(出典) <https://coinmarketcap.com/>より、当社作成（各年12月末時点の時価総額を元に作成）

< 参考 > 暗号資産の未来

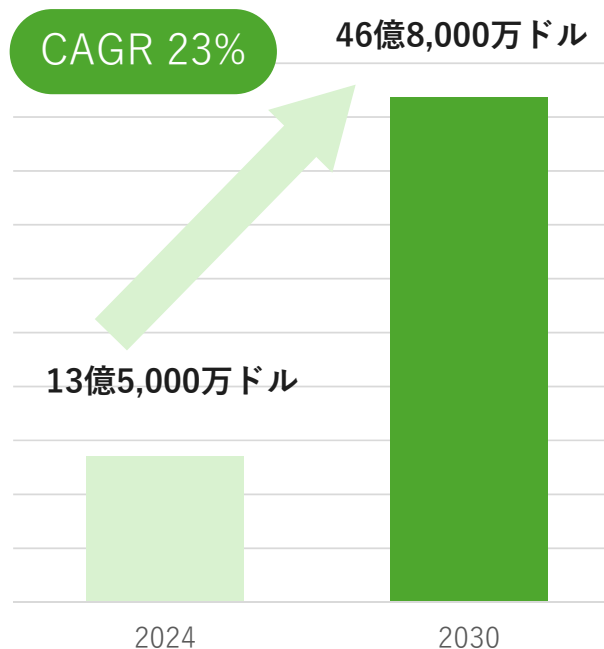
暗号資産全体の中核をなす暗号通貨市場は2030年に105億円超へ
暗号資産管理市場の成長率も20%以上と高く、今後も成長が見込まれる

■ 暗号通貨市場規模予測



(出典) 株式会社グローバルインフォメーション「暗号通貨市場：タイプ、プロセス、オフリング、エンドユーザー産業別-2025-2030年の世界予測」より、当社作成

■ 暗号資産管理市場規模予測



(出典) 株式会社グローバルインフォメーション「暗号資産管理市場の規模とシェア分析-成長動向と予測（2024年～2029年）」および「暗号資産管理-市場シェア分析、産業動向・統計、成長予測（2025年～2030年）」より、当社作成

Appendix

会社概要・企業理念

会社名	AI フュージョンキャピタルグループ株式会社 (英語表記 : AI FUSION CAPITAL GROUP CORP.)
上場市場	東証スタンダード市場上場 (証券コード254A)
本社所在地	〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート12階
資本金	100百万円 (発行済株式総数8,902,600株)
事業内容	ベンチャー企業への投資及び投資事業組合の組成 及びその管理・運営等を行うグループ会社の経営管理 及びこれに附帯又は関連する業務 (自己投資事業、ファンド事業、PIPEs事業、投資銀行事業)
設立年月	2024年10月
決算期	3月
役員	代表取締役社長 澤田 大輔 常務取締役 金 一寿 取締役(社外) 久保 隆 取締役(社外) 加來 武宜 社外取締役監査等委員 松本 高一 社外取締役監査等委員 砂田 有史 社外取締役監査等委員 蒲生 武志
企業理念	AIを軸に日本の成長を支えるキャピタルグループを目指す

代表メッセージ

**当社は、AIを軸に総合金融ソリューション事業を中心に据え、
日本の成長を支えるキャピタルグループを目指します！**

当社は、既存ビジネスである地方創生/CVC/テーマ型各ファンドの拡大を継続しつつ、更に地域企業等のM&A、成長が見込まれる企業への直接投資に注力いたします。これらの既存ビジネスと新規ビジネスを切り分けて事業運営を行うために、各事業会社を子会社として保有する持株会社となっております。

当社が事業の軸として捉える世界のAI市場規模 (AI機能を利用するためのハードウェア/ソフトウェア/プラットフォーム及びAIシステム構築に関わるITサービス)は、生成AIの本格的普及に伴い、2030年まで年平均成長率 (CAGR) 約30%で約1.8兆米ドルに加速度的成長を遂げることが予測されています。

更に生成AIは、テキスト/画像/動画/音声等の生成を通じて、ITサービスのみならず様々な産業に「作業の大幅な効率化」「新たなアイデアの実現」をもたらし、2030年までに世界経済に15.7兆米ドルの経済効果が見込まれ、世界のGDPを14%増加させるメガ・トレンド・第4次産業革命と目されています。

このAIを軸に総合金融ソリューション事業を中心に据え、日本の成長を支えるキャピタルグループを目指し、2028年3月期の時価総額目標として1,000億円を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

皆様には、今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
代表取締役社長
澤田大輔



役員一覧



金 一寿
常務取締役

監査法人で培った公認会計士としての幅広い見識に加え、公認会計士事務所および税理士事務所の代表として企業の会計や財務に関する多岐にわたる経験を有しております。
2024年10月に、常務取締役に就任。



久保 隆
社外取締役

弁護士として、コーポレートガバナンス、企業コンプライアンス及び企業経営に深い造詣を有しており、法務、コンプライアンス、内部統制システム及びガバナンス体制を万全としております。
2024年10月に、社外取締役に就任。



加來 武宜
社外取締役

弁護士として、金融庁検査官や事業会社の取締役としての経験等を通じて、企業法務に精通しており、専門的な知見を活かし、経営の監視・監督を行っております。
2024年10月に、社外取締役に就任。

役員一覧



松本 高一
社外取締役監査等委員

スタートアップ上場プロセスに関する専門的知見に加え、上場企業ガバナンスに関する豊富な見識を有しており、取締役の職務執行に対する監督、助言等を行っております。2024年10月に、社外取締役監査等委員会に就任。



砂田 有史
社外取締役監査等委員

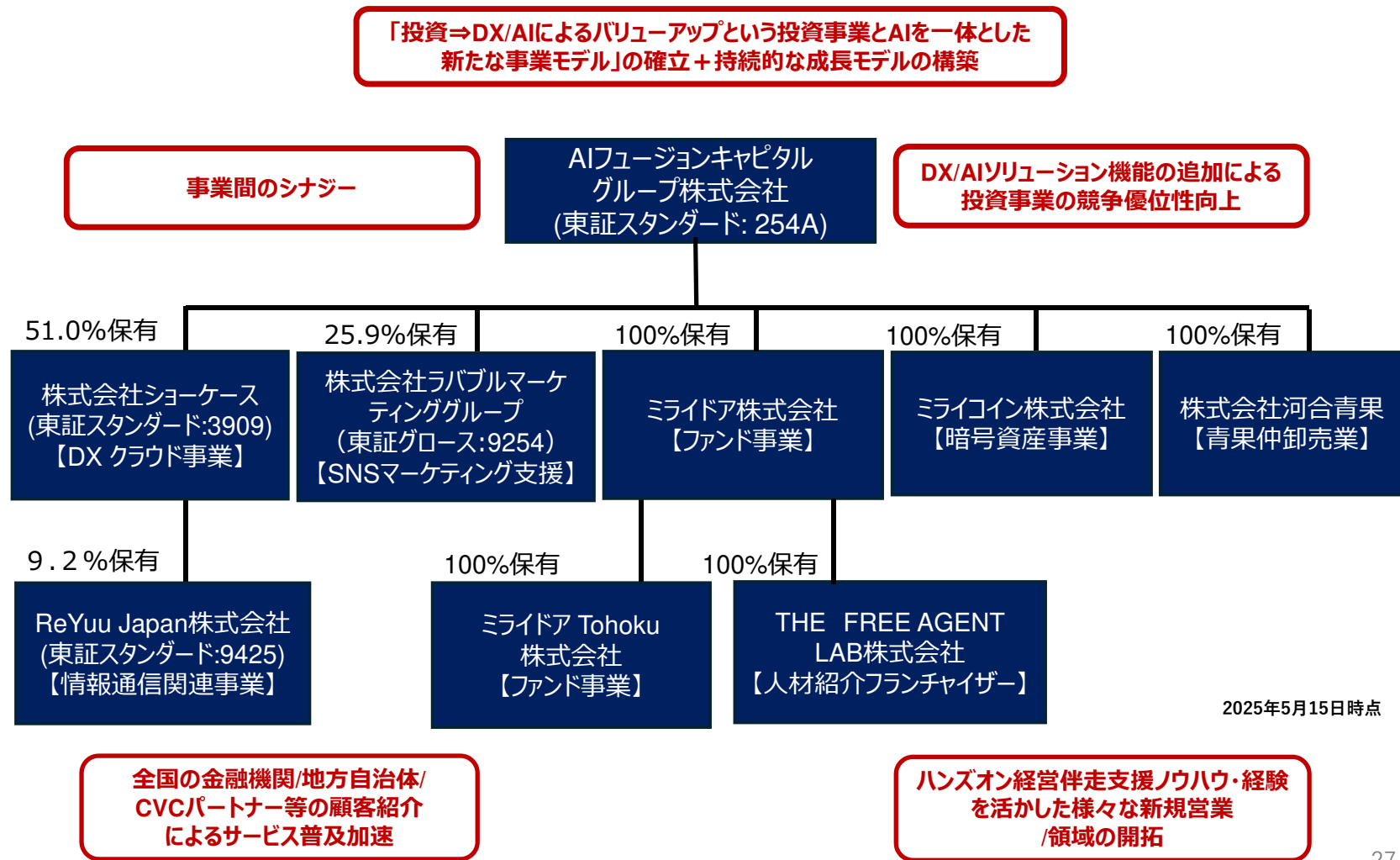
弁護士として、企業法務に精通しており、またM&Aやベンチャー投資にも知見を有していることより、専門的な観点から取締役の職務執行に対する監督、助言等を行っております。2024年10月に、社外取締役監査等委員会に就任。



蒲生 武志
社外取締役監査等委員

公認会計士・税理士として、コーポレート・ガバナンス、企業コンプライアンス及び企業経営に深い造詣を有しており、会計・内部統制システム及びガバナンス体制等、専門的な観点から取締役の職務執行に対する監督、助言等を行っております。2024年10月に、社外取締役監査等委員会に就任。

グループ（主要）資本関係図



株式会社ショーケースの連結子会社化と資本業務提携

- 当社は2024年11月14日に、公開買付け（2024年11月15日～12月12日を予定）及び第三者割当増資により、DXクラウド事業、広告・メディア事業、投資関連事業、情報通信関連事業を手掛ける株式会社ショーケース（証券コード3909）の連結子会社化及び資本業務提携契約の締結を発表いたしました
- 当社は、株式会社ショーケースの発行済株式総数の51.00%を所有することとなり、同社は引き続き東京証券取引所スタンダード市場での上場を維持する方針です
- 金融機能と経営伴走支援を有する当社と、DXソリューション機能・AIソリューション機能を有する株式会社ショーケースによる様々なシナジー効果を見込むことができます





2024年11月14日

各位

会社名 AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
(コード：254A 東証スタンダード市場)
代表者名 代表取締役社長 澤田 大輔
問合せ先 財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL：03-6261-9511)

**株式会社ショーケースとの資本業務提携契約の締結、
株式会社ショーケース株式（証券コード 3909）に対する公開買付けの開始
及び第三者割当増資の引受けについて**

A I フュージョンキャピタルグループ株式会社（以下「公開買付者」といいます。）は、2024 年 11 月 14 日の取締役会において、株式会社ショーケース（株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）スタンダード市場、証券コード：3909、以下「対象者」といいます。）の普通株式（以下「対象者株式」といいます。）を金融商品取引法（昭和 23 年法律第 25 号。その後の改正を含みます。以下「法」といいます。）に定める公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）により取得することを決議いたしましたので、お知らせいたします。また、公開買付者は、本公開買付けに関連して、対象者との間で、資本業務提携契約を締結すること、及び第三者割当増資を引受けすることを決議しましたので、併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 公開買付けについて

1. 買付け等の目的

(1) 本公開買付けの概要

公開買付者は、単独株式移転の方法により、2024 年 10 月 1 日付けでフューチャーベンチャーキャピタル株式会社（以下「FVC」といいます。）の完全親会社として設立され、同日付けで東京証券取引所スタンダード市場に上場しました。なお、本日現在、公開買付者及びFVCは、対象者の普通株式（以下「対象者株式」といいます。）を所有していません。

公開買付者は、2024 年 11 月 14 日開催の取締役会において、公開買付者及び対象者との間で、同日付けで、資本業務提携契約（以下「本資本業務提携契約」といいます。本資本業務提携契約については、下記「(3) 本取引に係る重要な合意に関する事項」をご参照ください。）を締結し、対象者を公開買付者の連結子会社とすることを目的として、東京証券取引所スタンダード市場に上場している対象者株式を対象とした公開買付けを実施し、本公開買付けが成立すること等を条件として、対象者が実施する公開買付者を割当予定先とする対象者株式 1,612,900 株（増資後所有割合（注1）：18.81%）の第三者割当による新株式発行（注2）（以下「本第三者割当増資」といいます。本公開買付け及び本第三者割当増資を総称して「本取引」といいます。）を引き受けることを決議しました。

株式会社ラバブルマーケティンググループと資本業務提携

- 株式会社ラバブルマーケティンググループは、当社が発行済株式総数の 20.04%を保有する持分法適用会社となりました
- 当社は、株式会社ラバブルマーケティンググループと資本業務提携を締結致しました 概要は以下の通りです
 - (1) 当社グループと L M G のそれぞれが強みを持つ、D X ・ A I 関連技術及び S N S マーケティングの開発と導入、相互の商品、ブランド、及び事業の展開
 - (2) 経営管理機能の共有、グループ間の顧客の連携
 - (3) その他両当事者が合意した事項
- 株式会社ラバブルマーケティンググループおよび当社グループ（連結子会社であるショーケースを含む）それぞれが有する巨大な市場での大きな事業機会を最大限に活用するには、両者が連携し、相互に顧客を紹介したり、それぞれの強みを活かした新たな商品・サービスを提供したりすることが、金融機能と経営伴走支援を有する当社と様々なシナジー効果を見込むことができます





2025 年 2 月 27 日

各位

会社名: AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
(コード:254A 東証スタンダード市場)
代表者名: 代表取締役社長 澤田 大輔
問合せ先: 財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL: 03-6261-9511)

株式会社ラバブルマーケティンググループ(証券コード: 9254)の「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当する株式取得と資本業務提携契約締結に関するお知らせ

当社は、本日取締役会において、株式会社ラバブルマーケティンググループ（東証グロース、証券コード 9254、以下、「LMG」という）の株式取得（以下、「本株式取得」という）および LMG との資本業務提携契約（以下、「本提携契約」という）の締結を決議致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本株式取得は、金融商品取引法第 167 条第 1 項及び金融商品取引法施行令第 31 条に規定する「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当しますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 本株式取得および本提携契約の締結を行う理由について

当社は、2024 年 10 月 29 日に中期経営計画（A I 革命 1.0）を策定し、様々なセクターの企業群の構造変革をもたらす可能性のある「第四次産業革命」と目される A I を軸に、「自己投資事業」「ファンD事業」「P I P E s 事業」「投資銀行事業」の 4 つの事業ドメインにおける戦略的投資・金融活動により日本の成長を支えるキャピタルグループを目指し、2030 年 3 月期には時価総額 1,000 億円を目標として掲げております。

2024 年 12 月には D X 分野で強みを持つ株式会社ショーケース（東証スタンダード、証券コード 3909、以下「ショーケース」という）等を連結子会社化し、さらに 2025 年 1 月にはミライコイン株式会社を連結子会社として設立し、オルタナティブ金融資産としての特性に加え、当社が事業の軸に据える A I と密接な関係を有する暗号資産投資事業にも進出致しました。

ファンド事業 / ミライドアの強み

地方創生ファンド実績

32 カバーエリア
都道府県

《 地方創生ファンド投資対象エリア 》

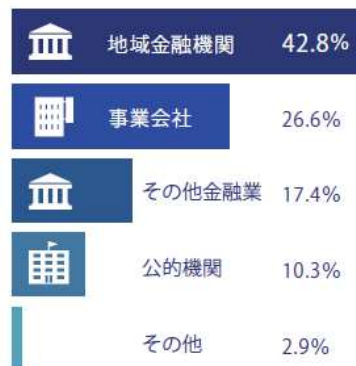
■ 主要出資金融機関所在地
■ 投資対象エリア



地域金融機関ネットワーク

約4 ファンド出資者の
割 が地域金融機関

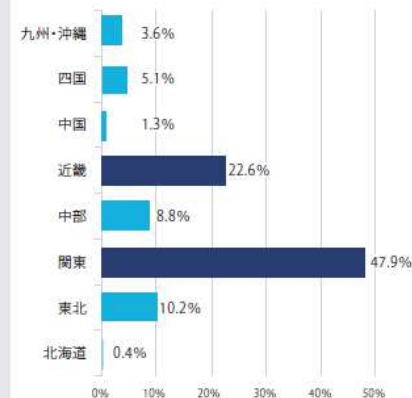
《 主な出資者構成 》



地方公共団体ネットワーク

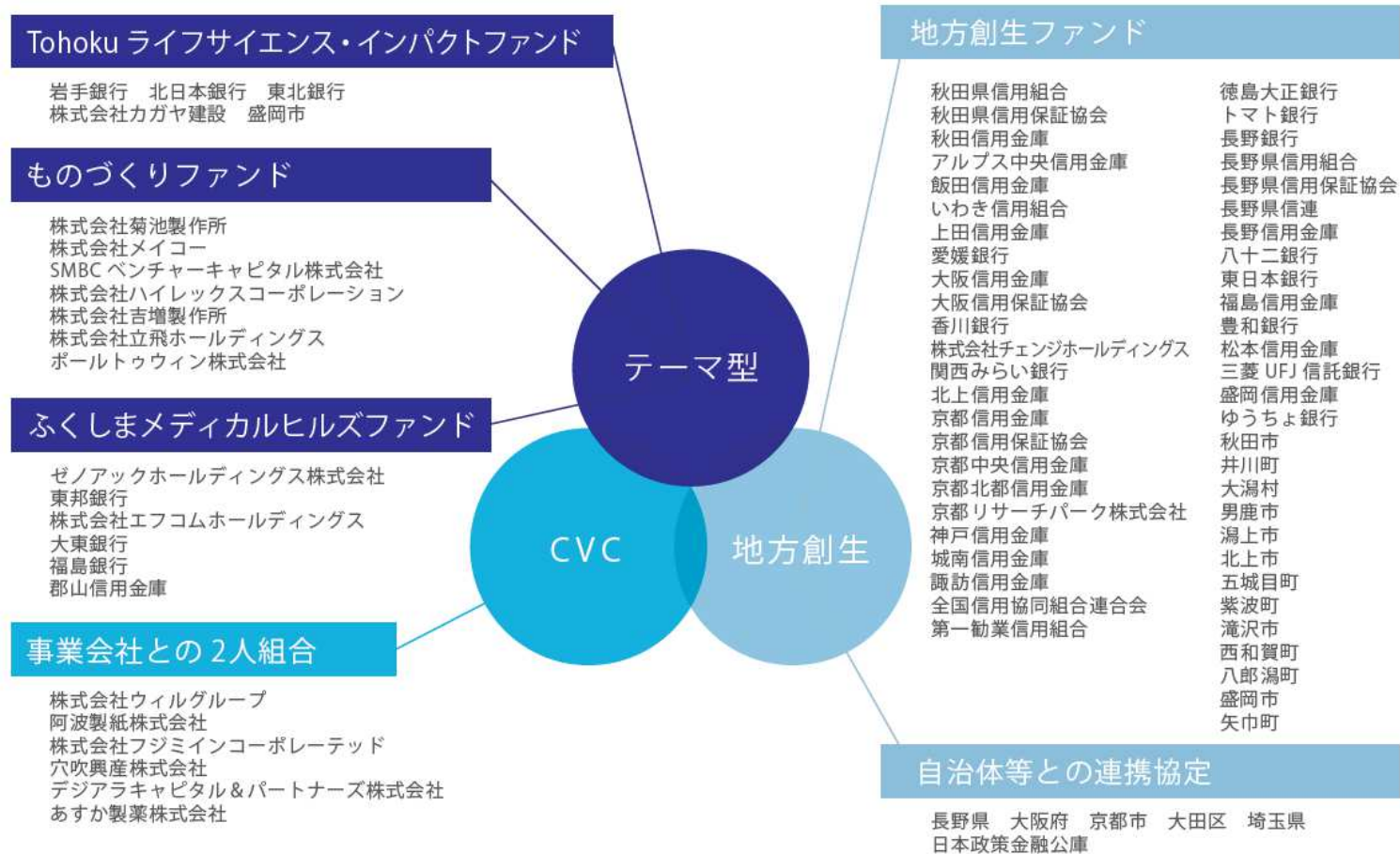
12 ファンド
が地公体と連携

《 投資残高 地域分散 》



※2024年9月にファンド区分を見直し、本資料は新区分での記載をしています。

ファンド事業 / ミライドアのファンドカテゴリー



※出資者と連携機関の一部を掲載しています。

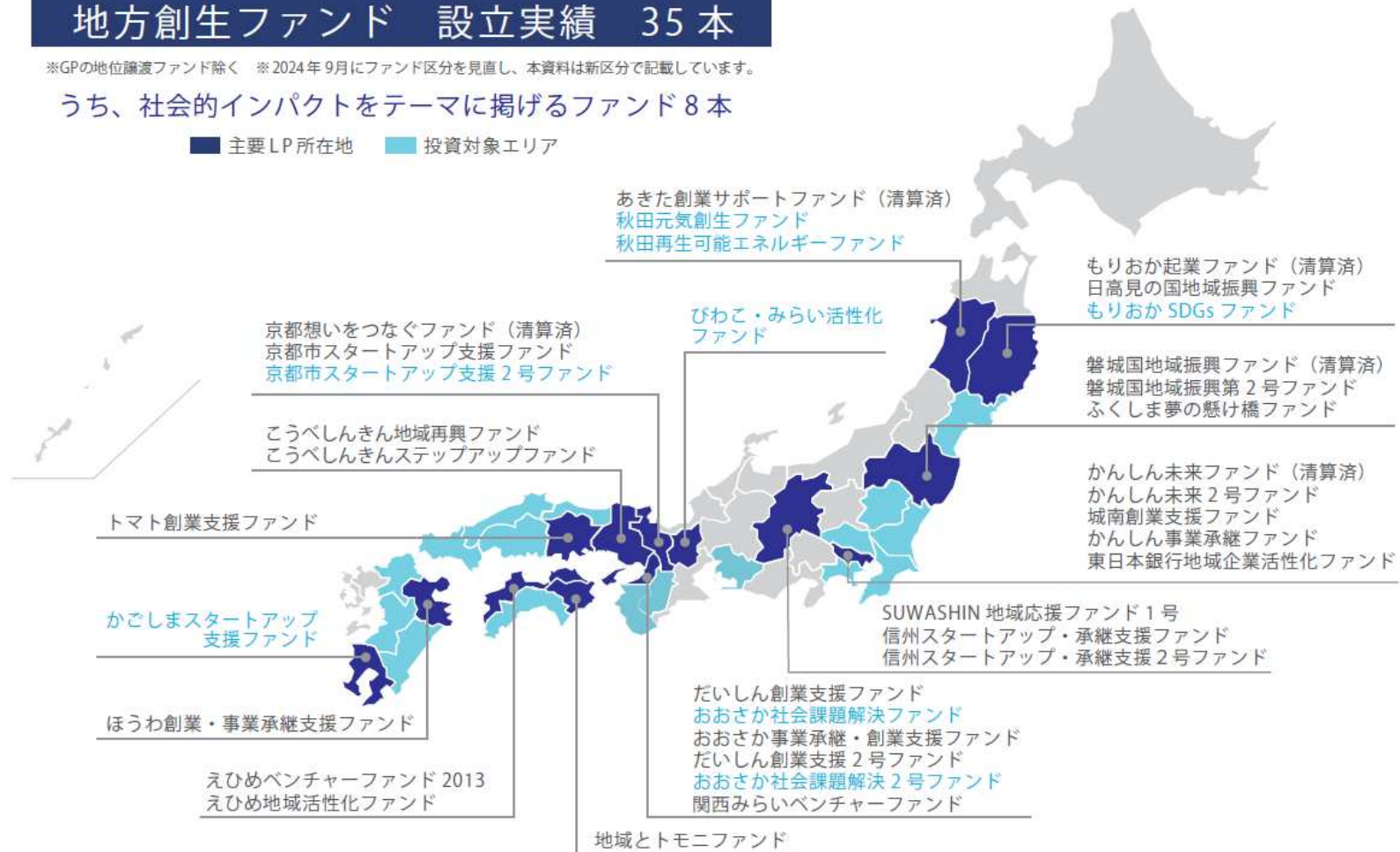
ファンド事業 / 地方創生ファンド実績

地方創生ファンド 設立実績 35 本

※GPの地位譲渡ファンド除く ※2024年9月にファンド区分を見直し、本資料は新区分で記載しています。

うち、社会的インパクトをテーマに掲げるファンド 8 本

■ 主要LP所在地 ■ 投資対象エリア



ファンド事業 / ミラード投資先のご紹介

創業支援型

【伝統文化】 (株)松沢漆工房 漆の精製加工・販売、漆器の企画・小売・卸売	【美容】 (株) Lecture 地域発関東進出のシャンプーブロー専門サロン
【ペットの総合栄養食】 (株) XAXA 新ジャンル高級ペットフードの開発・販売	【3Dプリンター】 (株)ゲーテンベルク 超高精度・高速 FFF 式 3D プリンターの開発・販売
【インバウンド】 (株)わっか しまなみ街道サイクル総合施設	【植物工場野菜】 (株)恵葉 & 菜健康野菜 高抗酸化値と美味しさを兼ね備えた健康野菜の栽培・研究・開発
【地域観光の活性化】 (株)オマツリジャパン 祭りの企画運営サポート、プロモーション、ブランディング	【女性活躍推進】 (株)マミー・クリスタル 地域特化型リアルコミュニティの運営自治体と連携した女性活躍推進

直近 IPO・M&A 実績

【半導体製造装置】 2024年12月 IPO (株) TMH 半導体製造装置・部品のメンテナンス及び EC プラットフォーム	【子育てサポート】 2024年12月 IPO BABY JOB (株) 保育施設向け紙おむつとおしりふきのサブスクリプションサービス
【シニアホーム紹介サービス】 2023年10月 IPO (株)笑美面 シニアホーム選びから入居までを支援	【音 × AI ソリューション】 2024年10月 IPO Hmcomm (株) 音声認識、異音検知・自然言語解析処理を用いたプラットフォームの提供
【建設 DX】 2023年3月 IPO (株)Arent 建設業界向け DX コンサル、システム開発・販売等	【アプリ CRM】 2023年5月 M&A (株)インサイトコア 飲食店向け店舗集客支援システムの提供
【採用支援】 2021年3月 IPO (株) i-plug ダイレクトリクルーティング	【不動産管理】 2022年12月 IPO (株)スマサポ 不動産管理業界向けソリューション提供、DX 推進
	【e ラーニング】 2020年7月 IPO KIYO ラーニング(株) ビジネスパーソン向け教育コンテンツ

ロゴの由来

当社グループは、AIの進化がインターネットが人類に与えたインパクトをはるかに凌駕し、人類の文明、文化、社会の在り方、そして個々人の価値観や生き方までを大きく変貌させると考えています。

ビジネス界においては、AIをいち早く取り入れた企業がその経営効率性において大きく変貌し、大きな発展を遂げると考えます。

インターネットの普及が世界の巨大企業の序列を変えたように、AI もまた世界の巨大企業の序列を変えていく事でしょう。

当社グループは、ビジネスとAIの融合を金融面から推進し、世界の発展を飛躍的に加速させていく、そんな思いをロゴに込めました。

そして、人類は今後ますます世界の持続可能性を高める方向へと向かっていく事でしょう。

植物が光合成により青々と成長していくように、そんな思いをロゴカラーにしました。



FUSIONが意味するもの

- AIをビジネスにFUSION（融合）する
- AIとFUSION (核融合発電)が密接に関連する
- 核融合発電 = AIの拡大とともに爆発的に増加する消費電力への最適解の1つである